

■基本構想のコンセプト・テーマ設定

つながりひろがる 杜と人が織りなす
ウォーカブルシティへ

（まちなかウォーカブル区域設定の考え方）

- ◆ 3つの背骨を中心軸としたエリアを重点区域とすることを提案します。
- ◆ 3軸から各エリアへ賑わいが面的に展開し、更に周辺エリアに人の流れや投資が波及展開することを目指した構想づくりを検討します。

賑わいの中心軸	多様な活動や周辺エリアへの波及を生む躍動的な通り
歴史・生活軸	参道らしさを感じる憩いと風格があふれる通り
暮らしの結節軸	誰もがいつでも使うことができる安全安心快適な通り



▼GPSによる区間別の通行量分析の例



■前提条件の整理と課題の抽出

- ◆ 人流分析においては、Wi-Fi、GPS、SNSそれぞれの特性を活かし、市内に訪れる人の興味・関心から、エリア間の流動、経路ごとの交通量まで、潜在的なニーズや人の動きを包括的に把握します。
- ◆ 分析結果はわかりやすい表現とし、中心部の課題やポテンシャルを可視化します。

■地域や民意との社会的合意形成へのコーディネート

- ◆ 持続的にウォーカブルなまちづくりを推進するため、行政や地域、民間主体が連携する仕組みが求められます。
- ◆ プロジェクト当初段階から長期的なエリアマネジメントの構築を見越し、ワークショップや社会実験の積み重ね、先行プロジェクトの創出を組み合わせた取り組みを提案します。
- ◆ 令和2年度はそのスタートとして、地域の様々な方から意見を伺います。

	令和2年	令和3年	令和4年
事業進捗状況	基本構想 コンセプト・テーマ設定	基本計画 エリアビジョン ウォーカブル区域設定	基本設計 空間デザイン基本設計
具体的なプロジェクト		【公共空間活用】社会実験 【空き店舗活用】社会実験 【駐車場活用】社会実験	長期的社会実験と課題抽出 モデルケース開始 モデルケース準備開始 事例の蓄積
合意形成	関係者への意見交換とヒアリング土壌づくり 担い手発掘とアイデア創出	担い手発掘イベント実施 アイデア具体化 社会実験準備 社会実験成果報告 地権者・関係者等との調整	持続的な運営方法と体制検討 空間計画へのフィードバック 関係者調整と体制構築準備
体制づくり	市民の関わり方の土壌づくり	担い手発掘と社会実験による実現可能性の検証	エリアマネジメント構築準備と関係者との合意形成

■銀座通り

- ◆ 玄関口にふさわしい風景演出、セタまつりでの一体利用を見据え、照明や舗装、高木植栽の再整備を検討します。
- ◆ 歩行者利便増進道路による官民連携型の滞留・飲食施設を提案します。
- ◆ 空地・歩道活用により沿道施設の利用促進を検討します。



■本町通り

- ◆ アーケードを活かした照明等により安全快適な通りの再生を検討します。
- ◆ 空地・空き家などの沿道建物改修や活用による生活空間再生を検討します。
- ◆ シェアサイクル等による駐輪対策、オープンカフェ等によりいつでも滞留しやすい街路空間を検討します。



■高架下空間

- ◆ 駅と駐輪場・駐車場を結ぶ通路の快適性・安全性向上を検討します。
- ◆ 交差点における仮設店舗や情報板設置など、周遊性の向上方策を検討します。
- ◆ 高架下空間の余剰地における多様なチャレンジ利用促進を検討します。



■路地における沿道民間空地利活用

- ◆ 開かれた街並み景観形成に向け、滞留施設や暫定店舗など積極的な利活用を提案します。



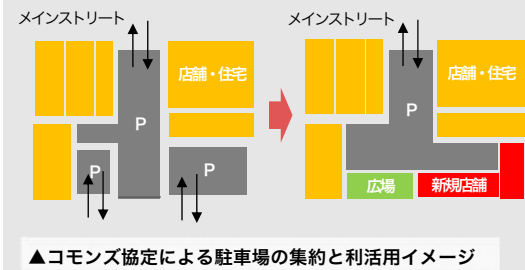
■空き家・空き店舗の利活用

- ◆ 特徴的な建物を対象にリノベーションやコンテンツ創出を検討します。



■駐車場等の再編

- ◆ コモンズ協定等により集約化した沿道民間空地の余剰地利活用と、広場や店舗創出を提案します。



■官民連携型リノベーション

- ◆ 公園・広場等の機能向上に向け、民間投資活用による多様な空間の使い方を検討します。



■自由提案

①職員・地域向け勉強会

有識者を招いた地元・職員を対象とした勉強会を実施し、「自分たちの生活や仕事との関係性」「自分たちにできること」を考えるきっかけをつくります。

②担い手発掘イベント企画

様々な領域で活躍するプレイヤーを迎えた働き方に関するイベントなど、様々な日地が参画するきっかけとなる企画を検討します。

※本企画提案内容は確実に実施されるものではありませんが、この案を基に事業を進めていきます。